



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年12月16日
文責：校長 江上 知男

子どもたちは「いろいろな出会い」で成長します！



①PTA門松づくり

②読み聞かせ

④3年ボランティアの学習

③6年リオンさんとの交流

子どもたちが身に付けるべき力のひとつに「社会性(社会力)」があります。社会生活に適應したり創造したりする能力で、「あいさつをする」「規則に従う」「自分で考えて行動する」「自分の行動に責任を持つ」等々具体的に言えばきりがありませんが、「将来自分以外のたくさんの人とつながり、様々な役割を果たしながら生きていくであろう子どもたち」にとっては、とても重要な力だと考えます。

実は、子どもたちが地域のいろいろな人と関わることは、人間関係の範囲を広げ、「社会性(社会力)」を育てることにつながります。年齢や立場の異なる人々と接したり、自分と考えの違う相手と出会ったり、身体状況が違う相手を受け入れたりすることで、多様な価値観や人との関わり方を学ぶ機会になります。本校では、関係者の努力により、12月に入って次のような取組を実施することができました。

①PTA門松づくり:12月10日(土)に、PTAやつたげ隊の大山田隊長、松川さん、稲葉さん、サポートの荒木会長、藤木さん(ナンテン寄贈)が、子どもたちにミニ門松の作り方を教えたり、学校の玄関に門松を作ってくださいました。日本が受け継いできた文化を学ぶことができました。

②読み聞かせ:12月13日(火)に、今年最後の読み聞かせが行われました。低学年はもちろんのこと、高学年も真剣な表情で視聴している姿に、「絵本が持つ魅力」のすごさを感じます。また、今回はお父さん(浦本さん)も来てくださいました。男女両方の取組で、「魅力倍増」だと感じました。

③6年リオンさんとの交流:12月13日(火)に、西村先生の友人であるインドネシア人のリオンさんが来校されました。ほぼ英語しか話せないリオンさんと、授業や生活で身につけた英語をフル活用する6年生の交流では、「お互い相手のことを考える姿」にコミュニケーションの大切さを学びました。

④3年ボランティア学習:12月15日(木)道徳の時間に、地域の佐藤さんが「消防団として関わった熊本地震」の体験を語ってくださいました。子どもたちは、「ボランティアをする理由」に関心を持つと同時に、「消防団の存在」が心に刺さったようでした。将来の嘉島を支える子どもたちです。

<お願い> コロナの第8波が猛威を振るっています。県内新規感染者は連日3,000人超えです。終業式まで「休校」しないためにも、感染防止を意識した土曜・日曜の過ごし方をお願いします。